

## ⑦ 理窓会記念自然公園



利根運河右岸に隣接し、東京理科大学が所有する自然公園。東深井谷津の複雑な地形や生態系を残している。「境田排水樋管」に落差を解消する魚道が整備されたほか、公園内では湿地再生の取組が行われている。

環境タイプ

森林 草地 池 湿地

(地権)

民有地

(所管)

東京理科大学

(市民的視点)

駅や住宅街の生活圏から近く、身近な自然環境である。豊かな自然が維持されており、遊歩道もあるため、散歩や自然観察する人が多く出入りしている。貴重な地形や生物が多く存在するため、観察会等のイベントも開催されている。

(評価結果)

【◎】

令和5年11月に、東京理科大学、流山市、野田市、市民団体等が協力し、敷地内の環境整備の一環として草刈りを実施した。東京理科大学は、当該敷地内の自然環境の維持、保全、整備に対し積極的である。また、野田市も同じく協力的であり、生物多様性保全に関するノウハウが充実している。東京理科大学、流山市、野田市の三者で包括連携協定を締結していることから、協働で保全や啓発に取り組めることが期待出来る。